

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年10月25日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3474100348		
法人名	株式会社アーバン・ケア		
事業所名	グループホーム はなみずき		
所在地	広島県尾道市向島町立花3010-23 (電話)0848-20-6022		
自己評価作成日	令和5年9月5日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3474100348-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年10月20日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

島内にある施設で、入居者様や職員の大半は島内の住人なので、中にはお元気にご自宅で暮らされていた頃の入居者様と顔馴染みの職員もおります。そのため地域の昔話なども自然に行えており、ある意味施設内で地域ケアが行えています。そういった「島内」という小さなコミュニティ力を今後も弊施設の特色のひとつとして大切にしたいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者が声を出して笑って頂けるよう、職員が工夫して楽しむ事が出来る支援を目標に取り組んでいる。恒例の小学校へ雑巾の贈呈は雑巾制作の段階から、利用者同士で縫い方が曲がっているなど雑談をしながらの制作風景や食事の味見など全員が楽しめるよう工夫している。食事は3食手作りで野菜の下ごしらえの段階から音や匂いを感じ、手作りおやつ、行事食、体調にあった食事形態や便秘予防にヨーグルトやバナナ、時にはウッドデッキでバーベキューなど、食を楽しむ支援をしている。面会制限や外出自粛で家族や地域交流を制限していたが、今後は対面での面会や外出が徐々に増やせるよう取り組む予定である。職員意見や提案など話しやすい環境作りをしている。

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域密着型サービスの意義を理解し、それに基づいて理念を職員全員で共有している。短期目標も考えて半年に一回は振り返り、そこに向けて実践につなげている。	今年1年の理念目標を提示し、短期目標、個人目標を半年ごとに振り返り検証し実践している。短期目標に『外出の機会を増やして、四季の変化を肌で感じて頂く』を掲げ、その1つとして「野菜を育てる」を具体的な取り組みで実施している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	小学校との交流や町内清掃、地域の行事にも積極的に参加させて頂くようにしている。	コロナ禍で地域活動や交流が減っている中で、小学校に雑巾、ちぎり絵のプレゼントや散歩中に利用者と共にゴミ拾い、今年は地域行事の秋祭りに子供神輿の来訪など交流がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の行事やお祭りなどの寄付もさせて頂き、地域の方に認知症の理解と開かれた施設作りを目指している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	家族の方からの意見を取り入れ、その都度解決できる問題であればその場で討議し、ご理解を頂いている。ご家族に随時連絡して状態をお知らせしている。	運営推進会議は議題を決めて、3事業所合同で各事業所の近況報告など行い意見交換をしている。今年度9月に合同の運営推進会議(家族会)を開催し、家族、地域包括支援センター職員、民生委員などの出席で詳細報告を行い、面会についての思いや要望があり、対面での面会再開などの取り組み報告をしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営上の疑問があれば市町や包括支援センターの担当者に報告や相談を持ち掛けている。	市主催の研修の参加、市町担当職員にグループホーム利用に関しての相談や生活保護の相談、不明瞭な点など、積極的に伝えるなど協力関係の構築に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関の施錠に関しては、建物の構造上リビングから段差やスロープ等、危険な場所を確認しにくいため、やむなくオートロックをかけているが、入居者様が望まれば職員が同行して外出をしている。	身体拘束防止委員会、研修を通じて周知し身体拘束をしないケアを実践している。独自の自己評価シートを活用して勉強会で話し合い、不適切ケアや言葉使いなど検証し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	日々の対応の中で身体の異常の有無の確認や虐待防止の施設内研修なども実施・再確認しながらケアにあたっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要とされる入居者様においては、以前利用されていたこともあるので、必要に応じて支援させて頂けるように情報交換は行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には事前に内容を説明させて頂き、不明な点は問い合わせさせて頂き十分理解・納得されたうえで本契約させて頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	二か月に一回は所長や副所長、三施設の管理者とリモート会議を開きコロナ対応などを話し合っている。その結果報告をご家族様に送らせて頂きご意見も頂いている。	電話や窓越し面会、ラインビデオ、運営推進会議議事録、毎月、行事や日頃の様子の写真付きの「はなみずき便り」を郵送し、意見を聞く機会を設けている。面会などの意見が多く、コロナ禍緩和により、対面での再開に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>カンファレンスや申し送りの時など意見ができれば早急に対応し、可能な限り取り入れるようにしている。日頃から個人で話を聞いたりしている。</p>	<p>申し送りノートやカンファレンス、随時の面談を通じて、いつでも意見が話せる環境作りをしている。業務の中で利用者に関わりを増やしたいの意見があり、外回りの草刈りの専従者の雇用により、負担の軽減に繋げている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>スタッフの声が聴ける環境作りをすることで、しっかり話し合い、改善が出来る所はしているが、今は職員不足が改善できていない。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>スキルアップのため、研修に参加しやすいように研修費、参加費など施設側が負担してくれている。また、施設内研修も取り入れている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域包括支援センター主催の町内の施設合同研修会にも参加して、より一層のサービスの向上につなげたい。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>できるだけ要望にお応えするように配慮をしている。利用者様との信頼関係が一番なので職員間で連携を取り、心配りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前面接、契約時にご家族様の今までの苦勞話に耳を傾けながら、当施設の対応方法を説明させて頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	事前面接に伺い、その時の聞き取り調査、本人の状態など面接の上で当施設で受け入れ可能か、あるいは他の施設の利用があるなど提案をさせて頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者様は皆人生の経験者、先輩なので常に勉強をさせて頂いているという気持ちで接するように心がけている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	利用者様のご家族が来所の折には施設での様子をお伝えしたり、逆にご家族様から新しい情報を教えて頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	夜間、深夜以外はいつでも電話を取り次いでいる。知人や友人の方も同様に行っている。感染予防に努め、ワイヤレスマイクを使用してガラス越し面会して会話も行っている。写真で様子を伝えたり、ドライブで馴染みの場所に行くようしている。	家族、知人の面会時にワイヤレスマイクを使用し、窓越しでの面会や家に帰りたい希望があれば、ドライブで自宅により、周辺や風景を散策し、人や場との関係継続の支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	趣味や手作業など、お互いに教え合ったり困っていたら声を掛け合って、職員が懸け橋になり共同生活をされている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	島内の施設に転居であれば、地元のコミュニティ力でその後のご本人の情報は入ってくるようにしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	なかなか思い通りの生活には叶えてあげられないが、より近いものにしてあげられるように本人主体で言葉や表情を汲み取りながら、意向を尊重し日々対応に努めている。	日頃の会話や家族から思いや意向の把握に努めている。年間行事の七夕祭りに、利用者が思いや願いを書き入れた短冊の要望を職員間で共有し、出来る範囲内で叶えられるよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日々の会話の中から生活歴を引き出したりご家族にお聞きしながら日々対応している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々に違うので、お一人ずつに適した生活様式を把握してその時々に応じた対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人、ご家族の意向に沿った介護計画が出来るように主治医の指示もおおぎ、カンファレンスでも話し合いながら現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>事業所独自のアセスメントシートを活用し、利用者・家族の意向や要望を把握し、職員、医療関係者の意見や提案を踏まえた介護計画を作成している。半年ごとにモニタリングを実施し、体調に変化があればその都度見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の小さな変化を細かく個別記録に記入をすることにより職員間で情報の共有をしてケアや介護計画に活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>出来るだけ入居者様、ご家族様の意向に沿うように心掛けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域資源を把握することで出向ける時には参加をしようと思うが職員の人数が限られているので、ボランティアなどで生活に張りが出ています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本来は提携医があるので変わって頂くのを前提としていますが、かかりつけ医が町内で往診可能な場合はそのままかかりつけ医として往診を支援している。</p>	<p>契約時にかかりつけ医の往診が可能であればそのまま継続出来る事を説明し、かかりつけ医の希望の確認をしている。提携医の月2回の訪問診療や緊急時の対応、非常勤看護師が体調管理をしている。歯科往診、要望があれば口腔ケアなど適切な医療が受けられるよう支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	非常勤の看護職員の出勤時は利用者様の特変を報告し適切な指示を仰いでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	状態にもよるが、出来るだけ入院期間は短期間が望ましいので、病院との連絡を取るように心掛けている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医からの指示により終末期に向かう段階でご家族様と話をさせて頂き、ある程度の方針を決めて看取りまでの過程の説明をしている。職員も随時看取りの研修や話し合いをしている。	契約時に「看取りに関する指針」を利用者・家族に説明を行い確認している。終末期に向けて職員、医師から家族に説明を行い方針を決め、職員はマニュアルを作成し、看取りの研修を行い、医療機関との連携を図りながら支援をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故に備えて緊急マニュアルを作成し、それに従い落ち着いて対応するようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	施設に於いては定期的に避難訓練、救命訓練指導は実施している。地域との協力のもとには実践が伴っていない。水や食料、パットなど備蓄している。	年2回、昼・夜を想定して避難訓練を消防署の立ち合い、指導で避難経路確認や水消火器を使用しての訓練をしている。非常時の備蓄を整備している。災害時の地域との協力関係が課題である。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	スタッフも十分配慮している。居室の訪問時には、不在でもノックをして入室し、利用者様にも声掛けをして入室をすようにしている。	接遇、マナーについての研修の時、アンケート用紙に自分の言葉で各項目に書き入れ、確認、意識づけをしている。丁寧な言葉かけや親しみやすい声掛けに取り組み、気になる事があれば時間を置いて、職員間で指導するなどしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定できる方に関しては対応が出来る範囲でお応えさせて頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	集団生活ではあるが、個々の自主性を優先させて一人ひとりの思いを大切にしている。日々の日課として体操、レクリエーション活動も声掛けをするが強要をしないようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝のモーニングケア時に、鏡の前で自分の顔をしっかりと見てもらい整容の支援をしている。着る服もできるだけ選んで頂くように声掛けをしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	味覚、視覚は大事にしたいので野菜を植えたり季節の旬の物は提供したいと考えている。食事は一緒にとり、メニューや味付けの話題などで盛り上がっている。片付けや食器洗いや拭いて頂いたりしている。	3食手作りで献立は週担当職員が決め、食材は業者の納入である。行事食は行事担当者が献立を決めている。畑で収穫した野菜や頂き物の野菜が食材に加わる。下準備の野菜の皮むき、野菜切り、食後の後片付けなど職員と共に行い、手作りケーキ、南瓜プリンなど食を楽しむ工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>量、形態、時間など一人ひとりの状態に応じて支援をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアの声掛け等、介助させて頂いている。ご家族の希望に合わせて月二回、歯科衛生士による口腔ケアの訪問もほとんどの方が実施されている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄状況を記録し、定期的な声掛け誘導を実施している。</p>	<p>一人ひとりの排泄状況を把握し、定期的な声掛けや様子などで誘導を行う事で、自宅ではリハビリパンツが布パンツになり、夜間だけのリハビリパンツ使用になるなど、トイレでの排泄支援に取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防に毎朝バナナヨーグルトを提供している。水分補給も細目に心がけている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>便失禁などの時には、時間などに関係なくその都度入浴、シャワー浴の支援などの個別対応をおこなっている。また、通院、外出予定日の前日には入浴の対応をしている。</p>	<p>週2回午後浴を基本にしているが、個別で一人ひとりに合わせた柔軟な対応をしている。ゆず湯や入浴剤、冬場は浴室と脱衣所との温度差に気を付け、入浴後に保湿剤の塗布を行い、着替え選びの配慮や外が見える浴室など、入浴が楽しめるよう工夫をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	その日の体調に合わせて、昼食後に午睡される方とされない方がいる。夕食後には一人ひとりの時間に合わせ入室し消灯されている。消灯時間も決まっていない。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬が変更された時は、連絡ノートや申し送りなどを行う。服薬は飲み込まれるまで見届け確認をする。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その人の残存機能を活かせる役割を見つけたり、趣味や楽しみが持続出来るように支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	気候の良い日には、随時散歩やドライブの声掛けをしている。ご家族の面会時には協力して頂き一緒に外出をされる方もいる。	家族に協力して頂き一緒にの外出や動物園までのドライブ、気分転換の散歩、公園へ外出し、売店でコーヒーを買って飲んだり、ウッドデッキでのバーベキューなど出来る範囲内で外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人がお金の管理をされている方には、買い物同行支援をしている。自分で管理されない方には金額を決めて買い物をして頂くこともある。		

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	個人で携帯電話を所持されている方もおられますが、ほとんどの方が施設の電話での取り次ぎや貸し出しの対応をしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ユニット内は四季に応じた飾りつけをしている。午前中は光が眩しすぎるので、カーテンなどで遮るようにしている。冬場は、暖房の乾燥予防のため、加湿器を使用している。温度湿度計も各ユニット内に置き管理、空気洗浄機は一年中使用している。	各ユニットごとに白・ピンクと基調が異なっている。天井が高く、採光や換気、自然の光、鳥の声や四季を確認できるよう、テーブルには季節の花、担当職員と一緒に製作した季節の飾り付けをしている。温度や湿度管理、空気清浄器を置き感染症予防対策をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	個室なのでいつも気兼ねせずに自分の部屋でゆっくり静養ができる。またリビングのソファで利用者様同士でお話をされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居前に使われていた馴染みのあるものを持ってきて頂き落ち着いて過ごして頂けるようにしている。(湯呑、茶碗の他写真、仏壇、寝具など)	エアコン、ベット、チェストが設置してある。自宅で使いなれた馴染みの物、大切にしている物、趣味の物など持参している。テレビや机、家族写真や人形、仏壇など思い思いに配置をして、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	一人ひとりに何ができるかを見つけ、残存機能を活かせるような見守り、声掛けをさせて頂いている。		

V アウトカム項目(海) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	●	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	●	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	●	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	●	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	●	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	●	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	●	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域密着型サービスの意義を理解し、それに基づいて理念を職員全員で共有している。短期目標も考えて半年に一回は振り返り、そこに向けて実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	小学校との交流や町内清掃、地域の行事にも積極的に参加させて頂くようにしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の行事やお祭りなどの寄付もさせて頂き、地域の方に認知症の理解と開かれた施設作りを目指している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	家族の方からの意見を取り入れ、その都度解決できる問題であればその場で討議し、ご理解を頂いている。ご家族に随時連絡して状態をお知らせしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営上の疑問があれば市町や包括支援センターの担当者に報告や相談を持ち掛けている。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関の施錠に関しては、建物の構造上リビングから段差やスロープ等、危険な場所を確認しずらいため、やむなくオートロックをかけているが、入居者様が望まれば職員が同行して外出をしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	日々の対応の中で身体の異常の有無の確認や虐待防止の施設内研修なども実施・再確認しながらケアにあたっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要とされる入居者様においては、以前利用されていたこともあるので、必要に応じて支援させて頂けるように情報交換は行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には事前に内容を説明させて頂き、不明な点は問い合わせさせて頂き十分理解・納得されたうえで本契約させて頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	二か月に一回は所長や副所長、三施設の管理者とリモート会議を開きコロナ対応などを話あっている。その結果報告をご家族様に送らせて頂きご意見も頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	カンファレンスや申し送りの時など意見ができれば早急に対応し、可能な限り取り入れるようにしている。日頃から個人で話を聞いたりしている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	スタッフの声が聴ける環境作りをすることで、しっかり話し合い、改善が出来る所はしているが、今は職員不足が改善できていない。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	スキルアップのため、研修に参加しやすいように研修費、参加費など施設側が負担してくれている。また、施設内研修も取り入れている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域包括センター主催の町内の施設合同研修会にも参加して、より一層のサービスの向上につなげたい。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	できるだけ要望にお応えするように配慮をしている。利用者様との信頼関係が一番なのでスタッフ一同で気配り、心配りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前面接、契約時にご家族様の今までの苦勞話に耳を傾けながら、当施設の対応方法を説明させて頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	事前面接に伺い、その時の聞き取り調査、本人の状態など面接の上で当施設で受け入れ可能か、あるいは他の施設の利用があるなど提案をさせて頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者様は皆人生の経験者、先輩なので常に勉強をさせて頂いているという気持ちで接するように心がけている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	利用者様のご家族が来所の折には施設での様子をお伝えしたり、逆にご家族様から新しい情報を教えて頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	夜間、深夜以外はいつでも電話を取り次いでいる。知人や友人の方も同様に行っている。感染予防に努め、ワイヤレスマイクを使用してガラス越し面会して会話も行っている。写真で様子を伝えたり、ドライブで馴染みの場所に行くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	趣味や手作業など、お互いに教え合ったり困っていたら声を掛け合って、職員が懸け橋になり共同生活をされている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	島内の施設に転居であれば地元のコミュニティでその後のご本人の情報は入ってくるようにしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	なかなか思い通りの生活には叶えてあげられないが、より近いものにしてあげられるように本人主体で言葉や表情をくみ取りながら、意向を尊重し日々対応に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日々の会話の中から生活歴を引き出したりご家族にお聞きしながら日々対応している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々違うので、お一人ずつに適した生活様式を把握してその時々に応じた対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人、ご家族の意向に沿った介護計画が出来るように主治医の指示もおおぎ、カンファレンスでも話し合いながら現状に即した介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の小さな変化を細かく個別記録に記入をすることにより職員間で情報の共有をしてケアや介護計画に生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	出来るだけ入居者様、ご家族様の意向に沿うように心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域資源を把握することで出向ける時には参加をしようと思うが職員の人数が限られているので、ボランティアなどで生活に張りが出ています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本来は提携医があるので変わって頂くのを前提としていますが、かかりつけ医が町内で往診可能な場合はそのままかかりつけ医として往診を支援している。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	非常勤の看護職員の出勤時は利用者様の特変を報告し適切な指示を仰いでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	状態にもよるが、出来るだけ入院期間は短期間が望ましいので、病院との連絡を取るように心掛けている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医からの指示により終末期に向かう段階でご家族様と話をさせて頂き、ある程度の方針を決めて看取りまでの過程を説明をしている。職員も随時看取りの研修や話し合いをしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故に備えて緊急マニュアルを作成し、それに従い落ち着いて対応するようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	施設に於いては定期的に避難訓練、救命訓練指導は実施している。地域との協力のもとには実践が伴っていない。水や食料、パットなど備蓄している。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	スタッフも十分配慮している。居室の訪問時には、不在でもノックをして入室し、利用者様にも声掛けをして入室をするようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定できる方に関しては対応が出来る範囲でお応えさせて頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	集団生活ではあるが、個々の自主性を優先させて一人ひとりの思いを大切にしている。日々の日課として体操、レクリエーション活動も声掛けをするが強要をしないようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝のモーニングケア時に、鏡の前で自分の顔をしっかりと見てもらい整容の支援をしている。着る服もできるだけ選んで頂くように声掛けをしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	味覚、視覚は大事にしたいので野菜を植えたり季節の旬の物は提供したいと考えている。食事は一緒にとり、メニューや味付けの話題などで盛り上がります。片付けや食器洗いや拭いて頂いたりしている。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>量、形態、時間など一人ひとりの状態に応じて支援をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアの声掛け、介助させて頂いている。ご家族の希望に合わせて月二回、歯科衛生士による口腔ケアの訪問もほとんどの方が実施されている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄状況を記録し、定期的な声掛け誘導を実施している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防に毎朝バナナヨーグルトを提供している。水分補給も細目に心がけている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>便失禁などの時には、時間などに関係なくその都度入浴、シャワー浴の支援などの個別対応をおこなっている。また、通院、外出予定日の前日には入浴の対応をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	その日の体調に合わせて、昼食後に午睡される方とされない方がいる。夕食後には一人ひとりの時間に合わせ入室消灯されている。消灯時間も決まっていない。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬が変更された時は、連絡ノートや申し送りなどを行う。服薬は飲み込まれるまで見届け確認をする。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その人の残存機能を活かせる役割を見つけたり、趣味や楽しみが持続出来るように支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	気候の良い日には、随時散歩やドライブの声掛けをしている。ご家族の面会時には協力して頂き一緒に外出をされる方もいる。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人がお金の管理をされている方には、買い物の同行支援をしている。自分で管理されない方には金額を決めて買い物をして頂くこともある。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	個人で携帯電話を所持されている方もおられますが、ほとんどの方が施設の電話での取次ぎや貸し出しの対応をしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ユニット内は四季に応じた飾りつけをしている。午前中は光が眩しすぎるので、カーテンなどで遮るようにしている。冬場は、暖房の乾燥予防のため、加湿器を使用している。温度湿度計も各ユニット内に置き管理、空気洗浄機は一年中使用。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	個室なのでいつも気兼ねせずに自分の部屋でゆっくり静養ができる。またリビングのソファで利用者様同士でお話をされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居前に使われていた馴染みのあるものを持ってきて頂き落ち着いて過ごして頂けるようにしている。（湯呑、茶碗の他写真、仏壇、寝具など）		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	一人ひとりに何ができるかを見つけ、残存機能を活かせるような見守り、声掛けをさせて頂いている。		

V アウトカム項目(空) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	●	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	●	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	●	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	●	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	●	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input checked="" type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームはなみずき

作成日 令和5年11月14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議を合同と無く3か月に一回は単独で行いましょう。	単独、合同会議で両方の利点を見つけながら、多種多様な職種の方からの情報をもらい地域に根差した場所にしたい。	会議に参加して頂ける方を一人でも増やせるように声掛け地域交流をする。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。